

&lt; 認知症対応型共同生活介護用 &gt;

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	1275800116
法人名	医療法人社団 阿呷の会
事業所名	グループホーム 杜の街
訪問調査日	平成 21 年 1 月 7 日
評価確定日	平成 21 年 2 月 5 日
評価機関名	特定非営利活動法人福祉総合評価機構千葉県事務所 所長 逆井 甚一郎

### 項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

### 記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

### 用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	1 2 7 5 8 0 0 1 1 6
法人名	医療法人社団 阿伝の会
事業所名	グループホーム 杜の街
所在地 (電話番号)	千葉県山武郡大網白里町南飯塚404-11 (電話) 0475-70-2411

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉総合評価機構千葉県事務所		
所在地	千葉県野田市木間ヶ瀬1650番地4		
訪問調査日	平成21年 1月 7日	評価確定日	平成21年 1月25日

## 【情報提供票より】(平成20年1月1日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成 13 年 4 月 1 日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	24 人	常勤 15 人, 非常勤 9 人, 常勤換算 12.5 人	

## (2) 建物概要

建物形態	併設 / (単独)	(新築) / 改築
建物構造	平屋 造り 1階建て	

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷金	有( ) 円 (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 180,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	(有) / 無	
食材料費	朝食	420 円	昼食	680 円
	夕食	650 円	おやつ	円
	または1日当たり		1,750 円	

## (4) 利用者の概要(1月1日現在)

利用者人数	27 名	男性	3 名	女性	24 名
要介護1	0 名	要介護2	4 名		
要介護3	12 名	要介護4	5 名		
要介護5	6 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 87.2 歳	最低	76 歳	最高	97 歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	坂の上外科
---------	-------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

坂の上外科を核とした(医法)阿伝の会が運営するグループホームである。敷地面積約12,000㎡の中に当施設と老健、特養が点在する。医療と福祉面で各事業所が連携している点に特色がある。3棟(3ユニット)が中庭を囲む配置にあり日当り等、環境は申し分ない。利用者本位のサービスは各棟とも行き届いており、利用者アンケートからも同意見であることが伺える。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	利用者サービスに関する課題は、概ね改善されている。行政関係、地域交流については、継続して改善に取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	各棟(ユニット)ごとに、会議により意見集約を図っている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	年2回実施し、施設側から現況報告・外部評価の結果報告等がされ、メンバーから積極的な意見交換がなされている。内容については職員会議にかけて、日常業務に反映させている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	意見・苦情の言い易い雰囲気作りに注力し、入手した意見は日誌の回覧により共有している。会議等を通じ日常業務に反映している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の敬老会、お祭りへの参加をしている。開かれた施設を目指しているため、施設への来訪を勧奨することで交流拡大に取り組んでいる。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念・運営方針については、新人研修時に徹底を図っている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	各棟の玄関近くに法人の理念と行動指針を掲示し、職員の志気高揚と関係者の理解を求めている。各会議を通じ共通認識を高めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の敬老会や祭りに参加している。 その他のサークル活動については、適当なものが無いため参加していない。 ボランティアの受入に積極的に取り組んでいる。		周辺住宅地から離れている立地条件から、まずは敷地内の他施設である老健、特養の利用者との日常交流を期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	会議等を通じ検討し、改善に取り組み、日常業務に活かしている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年2回開催し、貴重な意見が多数あり、業務に反映させている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町内グループホーム連絡会があるが、活発な活動には至っていない。		行政ならではの企画、例えば広域的(長生郡市、県内外)な同業者との交流(見学、情報交換)機会を要望してはどうか。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の状態、変化については随時電話にて報告している。月1回のおたよりにより、全体と利用者個人の近況を報告している。家族来訪時は、介護計画の他にも意見交換を密にしている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口の設置とともに意見と言い易い雰囲気作りに努めている。要望等は業務日誌に記録し回覧により職員が共有し、会議等で改善している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動、退職等は1ヵ月間の引継期間を設けて、利用者本位の配慮をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修計画は、グループ本部で対応しており、外部研修についても率先参加させている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	町内グループホーム連絡会、千葉県グループホーム連絡会に参加しているが、内容に一考を要するものと思われる。		主催者の意図と活動限界を確認する必要があるが、会員から要望を出し活動の充実を図ってみてはどうか。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	職員の自宅訪問、半日体験入居と通じ馴染める雰囲気作りによりスムーズなサービス移行を工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の生活歴、趣味、嗜好、特性を把握してケアプランを作成し、日常生活に反映させている。		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は利用者の良き理解者として、見守りが行き届いている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は関係者の話し合いと合意がなされている。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者の変化に応じ、随時家族とも協議し対応している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	敷地内に老健施設等があるため、医療・福祉に関して些細な事でも即応することを目指している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族の要望に沿うようにしている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ターミナルケアの指針に基き対応している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員研修で徹底を図っており、日常生活においても手抜きが無い。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の意向を引き出す言葉掛けや対応がされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備、後片付けに利用者が参加している。食事時の職員の見守り、介助、言葉掛けが行き届いている。食事メニュー、内容も納得出来る。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望と体調を考慮し対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の個性を把握し、日々楽しく過ごすための支援を心掛けている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望を第一に支援している。日光浴や散歩は極力誘導している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、通常は玄関ドアは外に出ることを可能として見守り対応している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練を実施している。敷地内他施設との応援体制を組んでいる。夜間はこれに近所に住む職員を連絡網で呼集し対応することとしている。		夜間は1名となるため夜間災害避難を想定した訓練が望ましい。職員の役割分担手順も明確にすべきであろう。地区自衛消防団にも応援依頼することが望ましい。消防法改正にともなう設備についても早期検討が望ましい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個別対応について引継ぎが的確にされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各棟ともゆとりある設計がされており、施設全体を見て料金的にも妥当と思われる。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具等の私物の持込は自由であり、各自の好みとなっている。		